共産党
ここから変える

「浅野ふみ子とみんなで青（あお）う」を合言葉に浅野カラーを身につけて宣伝する「ふみネェ推し隊」

あねご肌の頼れるドボジョ

比例は日本共産党へ

参院選
千葉
（改選数3）

浅野ふみ子

45歳

あさの・史子＝1970年千葉県生まれ。国立木更津工業高専卒。現在、党千葉県女性部長

「戦争法を廃止したい」ママの願い実現に全力

私は8度目の国政挑戦です。保守の人からも「もっと泥くさく頑張れ」とのエールが寄せられています。懇談したある首長は「戦争はだめだというのは保守の人間にも共通する思い。自民党の支持者とも手を結んで運動を進めてほしい」と期待を語ってくれました。

安倍政権は米海兵隊オスプレイの整備拠点を木更津駐屯地（木更津市）に誘致し、千葉県を海外で戦争するための重要な拠点にしようとしています。私には3人の子どもがいます。わが子もどの子も、殺し、殺させない。どのママたちも「戦争法を廃止したい」と心から思っています。この願いに応えるために全力を尽くします。

木更津市の国立工業高等専門学校で土木工学を学び、卒業後は木更津市役所初の女性土木技師になりました。今風にいえば「土木女子」＝ドボジョのはしりです。

授業で学んだ〃公共の福祉に供してこそ土木〃の精神は「人の役に立ちたい」と願っていた私の政治の原点です。そして、土木は市民のライフラインを築き、生活と産業を育てる「平和産業」です。戦争法の廃止は、ドボジョの責務です。

実家は大家族で、学生時代は奨学金とアルバイトで自活しました。いま子どもたちに貧困が広がっています。制服が買えない、汚れた上履きを買い替えられずに裸足ですごす…。かつての自分にオーバーラップし胸がつぶれます。

「苦しい思いをする若者をなくしたい」と共産党に入党したのは18歳のときです。憲法で一番好きな条文は生存権を保障した25条。戦争は生存権を侵す最たるものです。貧困や教育格差、雇用問題の解決、平和を守りぬくために25条の完全実施に全力をあげます。

いま、パパ・ママ世代や若者でつくる「ふみネェ推し隊」が街頭宣伝や宣伝物を企画・作成してくれています。「勝手連」の支援は長い候補者経験でも初めてです。広範な市民と一緒につくる選挙になっています。

「隊員」とどういうイメージで浅野を押し出していくか議論しました。私は〃子育て真っ最中の優しいママ〃を提案しましたが、一瞬で却下。浅野は、〃あねご肌の頼れるドボジョ〃だそうで…。

戦争法廃止をめざし野党が選挙協力をすすめる5野党合意（2月19日）以降、「待ちに待った合意だ」と、街頭で訴えれば訴えるほど激励の声がかかります。日本共産党に対する新しい期待と注目の高まりを感じます。この千葉県で、必ず共産党の初議席を勝ち取りたいと決意しています。

選挙区メモ

参院千葉選挙区は改選数３の激戦区です。自民党が現職の候補者に加え、１増を狙って新人を擁立。民進党の現職、元みんなの党の現職（民進党入党）が立候補を予定しています。浅野候補が県政史上初、参院選挙区で共産党議席を獲得するかどうかが、選挙戦の大きな焦点です。

日本共産党は「市民と力あわせて戦争法を廃止し、安倍政権を倒す」「国民の願いを確実に実現するためにも共産党躍進を」と宣伝や対話・支持拡大に全力をあげています。

アベ
NO THANK YOU!

花の谷クリニック院長
伊藤　真美さん

ぶれない行動力と前向きな心持つ人

終末期医療に携わってきました。人間に平等に約束された「死」に向き合い、医師として全力で「生きる」ことを支えてきました。だから「合法的殺人」＝戦争は許せません。

もともとノンポリでしたが、自衛隊のイラク派兵を契機に憲法9条を持った特別な国・日本の政治を真剣に考えるようになりました。

安倍政権はこれまでの自民党とは明らかに違う。軍事を基盤とした政権をつくろうとしています。その危険を、多くの国民に気づいてほしい。

経済格差が子どもや高齢者に広がっています。誰もが頑張れば夢を実現できる社会が必要です。

浅野さんは、ブレずに、スピーディーな行動力、そして明るい前向きな心がある。野党共闘した参院選の後、いつまでも野党でなく、新しい政権をつくる与党となる覚悟でのぞんでほしい。